

令和5年度 第4回帯広厚生病院地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日時 令和6年3月22日（金） 16:30～17:00
開催場所 当院3階 Koseihall A・B
出席者 別紙資料のとおり

1. 報告事項

(1) 令和5年度実績について

- ① 帯広厚生病院の概要
- ② 当院における地域医療支援病院の概要
- ③ 紹介率
- ④ 救急医療の実績
- ⑤ 共同利用実績
- ⑥ 研修実績
- ⑦ 患者相談の実績
- ⑧ 委員会実績

- ・ 紹介率・逆紹介率の上昇についてはコロナウイルス感染症の影響があったうえでの結果なのか。(北海道帯広保健所 所長 森 昭久)

コロナウイルス感染症の影響で連携が抑制された部分もあるが、各診療科の協力も図られ、提示した数値となった。(佐々木副部長)

- ・ 逆紹介率が基準値を大幅に上回っているのは厚生病院に限らず他の医療機関でもいえることなのか。(帯広中央病院 理事 前田 修一)

各医療機関相互で逆紹介して頂いており、当院の患者も他医療機関に向けて逆紹介に力を入れており、地域の医療機関へ移行している。(大瀧委員長)

2. 協議事項なし

3. その他

- ・ 肝臓外来の縮小の連絡を厚生病院から頂いたが、EMR・ESDについては実施できるのか教えて頂きたい。(本別町国保病院 院長 一条 正彦)

消化器内視鏡医が行う高度な内容のものについては実施していく。常勤医退職・異動に伴い、健康診断の二次健診における胃カメラについて実施は難しい状況である。肝臓外来は後任の配置に努力するが、当分は大学からの診療応援を頂き、対応していく。(大瀧委員長)

- ・ 診療報酬改定に際し、何か気にしておくことはあるか。
(帯広中央病院 理事 前田 修一)

三次救急病院などから連携先へ送る「下り搬送」について報酬が新設された為、地域連携の役割としては影響のある部分だと考える。(大瀧委員長)

以 上